

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ～10 時
祈 祷 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈教会
(第3・午後2時)
●夕の祈教会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
00290-4-80707

3229 2026 年 10 月 4 日

礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 20 主日・「世界聖餐日」)

司式者 井 殿 準
奏楽者 岡 野 和 美

前 奏	奏 楽 者
招 詞	司 式 者
讃 美 歌	一 同
聖 書	司 式 者
ヘブライ 6 : 4 ~ 12 (新 P. 406)	
使徒信条	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌	一 同
説 教	司 式 者
祈 祷	〃
讃 美 歌	一 同
聖 餐 式	〃
讃 美 歌	一 同
献 金	〃
主の祈り	〃
頌 栄	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃 美 歌	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「神の力を感じつつ」

(コロサイ 1 : 21 ~ 29)

パウロの人生は苦しみの連続であった(Ⅱコリ 11 : 23 以下)。何度も鞭打たれ、苦難を経た彼の体は満身創痍、まさに傷だらけだったであろう。しかし、パウロはキリストを宣べ伝えずには、いられなかった。「キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさ」を思えば、苦も苦ではなかった(フィリピ 3 : 8)。

24 節において、パウロは「苦しむことを喜びとしている」とさえ語っている。しかし、誰が好き好んで苦しもうとするだろうか？

Ⅱコリ 12 章で、パウロは「わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです」と語る。何故、パウロは、「苦しみを喜びとしています」と言い得たのか？ それは彼が、苦しみ(弱さ)の中で、神の力が豊かに働くのを感じていたからではないだろうか？

神は弱さの中に働く。そして、神は、世に救いをもたらすために、弱い者を選んで用いるお方でもある。多くの人は「力のない者がどうして他者を助けることができるのか？」と考える。しかし、我々は、「励ますつもりで出かけたのに、逆に励まされて帰って来る」等といった経験の中で、元気な人が元気を分けてあげられるとは限らないことを知らされている。本当に人を勇気づけ、励ます力を持っているのは、「強い人」よりも、悲しみを知り、苦しみを知り、寂しさを知り、悔しさを知っている人と言えよう。大切なのは、人の心に寄り添う心、共感する心の有る無しである。神は、我々がそのような心をもって互いに出会うことを望んでいらっしゃるのだ。神の御心はそこにある。それだからこそ、神の力はそこに豊かに働くのだ。

パウロは、弱さの中で豊かに働く神の力を深く実感しながら、苦しみの中に喜びを見出したが、我々もまた、人の心に寄り添い、共感するところに働く神の力、そのような神の力をこの身に実感しながら、生きて働く神の恵みに喜ぶ者でありたい。その喜びに支えられながら、我々はいよいよ隣人との良き出会いを積み重ねて行こう。